

12月10日公開

## 第9回 「伝統建築こうしょう工匠わざの技」が無形文化遺産ぶんか いさんに

2020年11月17日、「伝統建築工匠の技」がユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化遺産に登録されることが確定となりました。ユネスコの評価機関が「伝統建築工匠の技」について、「無形文化遺産に登録することが適当」との勧告かんこくを出しました。

12月14日からフランスの首都パリで開かれるユネスコの会議で正式に登録される見込みみことなっています。

「伝統建築工匠の技」とは、日本の伝統的な木造建築を守る職人の技術のことです。現存する世界最古の木造建築である法隆寺ほうりゅうじや、徳川家康とくがわいえやすがまつられた日光東照宮とうしょうぐう、白川郷しらかわごう・五箇山ごかやまに見られる合掌造りがっしょうづくなどもこうした技術に支えられてきました。

今回の登録では、伝統的な建造物の修理や保全を行う宮大工（寺社を専門に扱う大工）や左官（建物の壁や床を仕上げる仕事をする人）らが代々でし弟子きたを鍛え、知識や技術を伝えてきたことなどが評価されました。

日本では、これまでに能楽のうがく・人形浄瑠璃文楽じょうるりぶんらく・歌舞伎かぶき・和食・和紙などが無形文化遺産に登録されています。

## チャレンジ問題

1 無形文化遺産に登録されることになった「伝統建築工匠の技」によって建てられた建物にあてはまらないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 法隆寺

ウ 白川郷・五箇山の合掌造り

イ 日光東照宮

エ 端島炭坑の集合住宅

2 無形文化遺産に登録されているものとして正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 能楽

ウ 人形浄瑠璃文楽

イ 歌舞伎

エ 落語

3 無形文化遺産に登録する機関を次から選んで、記号で答えなさい。

ア UNESCO

ウ UNHCR

イ UNICEF

エ UNCTAD

答え

1 エ

2 エ

3 ア